

国際ワークショップ

東南アジアとの通路 ——日本文学・文化研究理論を考える——

主 催：国際言語文化研究所

共 催：科学研究費補助金基盤研究（B）代表：中川成美，国際日本文化研究理論研究会，
学内提案公募型研究プロジェクト「政策的重点研究」プログラム

日 時：2009年3月14日（土）13:00-18:40 / 3月15日（日）10:00-18:40

会 場：立命館大学衣笠キャンパス 洋洋館2階956号教室

2009.03.14（土）

開会挨拶と趣旨説明 中川成美（立命館大学国際言語文化研究所長）

Session 1 タイの日本文学・文化研究

パネリスト：

「タイにおける日本文学・文化及びポップカルチャー受容の現状と研究 1・2」

1 Namthip METHASATE (チュラロンコン大学) / 2 平松秀樹 (チュラロンコン大学)

コメント 久保田裕子 (福岡教育大学)

Session 2 ベトナムの日本文学・文化研究

パネリスト：

「ベトナムの大学における日本文学教育現状及び今後の課題」

TRAN Thi Chung Toan (ハノイ国家大学)

「ベトナムにおける近年日本研究の状況とその特徴」

NGUYEN Tien Luc (ホーチミン国家大学)

「ベトナム南部における日本文化浸透から日本語普及へ」

NGUYEN Vu Quynh Nhu (在ホーチミン日本国総領事館)

コメント 中村三春 (北海道大学)

Session 3 マレーシアの日本文学・文化研究

パネリスト：

“Japanese Language Courses: A Surging Factor Into the Future (A Foundation of Japanese Studies in Malaysia)”

Sohaimi Abdul AZIZ (マレーシア科学大学)

「マレーシアの中の「日本」—日本語教育から文化・文学翻訳まで」

葉 蕙 (翻訳家)

コメント・通訳 スティーブ・コルベイ (立命館大学)

2009.03.15 (日)

Session 4 インドの日本文学・文化研究

パネリスト：

「現在インドにおける日本研究：その問題点と将来性」

P.A. GEORGE (ジャワハラル・ネルー大学)

コメント 稲賀繁美 (国際日本文化研究センター)

Session 5 インドネシアの日本文学・日本研究

パネリスト：

「インドネシアにおける日本研究の現状」

Bambang WIBAWARTA (インドネシア大学)

コメント 木村一信 (立命館大学文学部長)

ワークショップ アジア研究の課題

総合司会 雨宮幸明 (立命館大学大学院)・内藤由直 (立命館大学ポストドクトラルフェロー)

研究発表1 アジアと植民地主義

秋田道子・工藤献 (立命館大学大学院) / 大原伸五 (立命館大学大学院) /

禧美智章 (立命館大学大学院)

研究発表2 日本の大衆文化とアジアの表象

二村洋輔・米田あい・大山祐太郎 (立命館大学大学院) / 松田有紀子 (立命館大学大学院)

総合討議 司会 西成彦 (立命館大学)

パネリスト：Namthip METHASATE / 平松秀樹 / TRAN Thi Chung Toan / NGUYEN Tien
Luc / NGUYEN Vu Quynh Nhu / Sohaimi Abdul AZIZ / 葉 蕙 / P.A. GEORGE / Bambang
WIBAWARTA

閉会の辞 木村一信 (立命館大学文学部長)

※上記はシンポジウム当日のプログラムであり、本号に報告が収録されていない場合もあります。